

登録コード	A3595481	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究Ⅱ					担当教員	大迫 祐太郎
英文授業名	Thesis ResearchⅡ						
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ, 2021Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	果樹園芸学分野における基礎的事項について、広い知識・技術を修得している	
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	果樹園芸学分野における基礎的事項について、広い知識・技術を修得している	
	2026A3編（24A）, 2025A3編（23A）, 2024Aカリ, 2023Aカリ						
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	果樹園芸学分野における基礎的事項について、広い知識・技術を修得している	
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	果樹園芸学分野における基礎的事項について、広い知識・技術を修得している	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	専攻研究のテーマとして、各自に果樹を対象とした研究テーマが与えられます。 専攻研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲを通じて、果樹園芸学に関連する研究の実施と論文の取りまとめを行い、科学的思考力, 課題解決能力, プレゼンテーション力を養成します。						
(5)授業計画	果樹類（現在は主にリンゴ・ブドウ・ニホンナシ）を対象とした、果樹の生態・生産に関わる研究を行います。 果樹園芸学に関する週1回程度の座学に加え、随時、各自の先行研究に関わる課題を実施します。						
(6)自主学習の指針	園芸学および自分の研究において必要な知識に関して、教科書や論文を利用して収集し、研究を行う過程でそれらを身に着ける。						
(7)成績評価の基準	・設定した研究課題を遂行するための計画 ・実験計画の遂行 ・進捗の報告, 検討（プレゼンテーション） ・研究に関連する情報収集 などの観点から総合的に評価します。						
(8)事前事後学習の内容	「自主学習の指針」と同様						
(9)テストやレポートの予定	卒業論文として最終年度の後期にまとめる その過程で計画や中間報告の取りまとめを数回行う						
(10)成績評価の方法	・研究の遂行(40%) ・研究に対する姿勢(60%)						
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室にて随時対応						
(12)履修上の注意	・研究室分属後、3年生後期から4年生後期まで専攻研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲの順に全てを履修していくこととなります。 ・基本的に3年生前期の果樹園芸学を履修していることが履修の条件となります。 ※最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	随時指示します						